

日本アクセス 「日本アクセス総合展示会 Foodconvention2013」開催 自社商品開発強化、バーチャルストア提案



田中茂治 代表取締役社長

日本アクセスは、7月24日（水）・25日（木）、さいたまスーパーアリーナ（埼玉県さいたま市）で、「日本アクセス総合展示会 Foodconvention2013」を開催した。出店企業数450社、来場者数約11,000人。

開催初日の会見で、同社田中茂治代表取締役社長は、「今年は20周年ということで、展示スペースを例年よりも広く開催し、提案内容も拡大。同社は、今期から第5次中期経営計画をスタートさせており、展示会を通じて商品戦略やマーケティング戦略を“ミエルカ”した。

第1四半期の数字は、売上高前年比105.3%と順調に推移。カテゴリー別では、（…続きは正規版をご覧ください）」とした。（売上高・営業利益・経常利益は、同社が7月26日（金）に発表した「第1四半期業績の概況」に基づく）

■バーチャルストア

2011年に韓国で、テスコとサムスンの合弁企業が地下鉄に展開し、非常に話題になったSTEM。日



バーチャルストアブース

本ではこれまで再現されてこなかったが、20周年を機に再現。（続きは正規版をご覧ください。）

■自社商品開発機能強化

同社では今後、商品開発機能を強化し、アクセスブランドを積極提案していく。卸の商品開発は従来からあるが、今後の商品開発の基本方針を発表。①NB商品とのカニバリ（cannibalization）を起こす商品の開発は極力避ける（…続きは正規版をご覧ください）